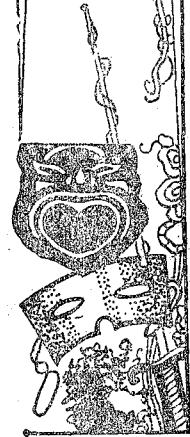


假面劇



世は様々

大阪ゴーストツブ事件は案外にも世間の注意を喚起したが結局は一巡査と一兵との葛藤事件であるが、第四師團の方で聲明書まで發表したから検事は上京して上官と打合せられたと傳へられた。乃ち單なる傷害罪として取扱ふことを許されなくなつたのである、慎しむべきは吾人の言行である、第三師團では此前列に鑑み、在營兵に交通方法を熟知せしめ萬一の錯誤過失をも生ぜざらしむることを期し名古屋市内に於ける交通方法、GOSTOP標示器停止線一般交通方法交通巡査の執務狀態其他交通取締規則など教材となるべき資料を縣當局に就て

取調べたとの事である。軍の首脳部が斯くまで注意深く且懇切に其所管兵の教養に努力せらるることに對して吾人は甚大の感謝と敬意を表せざるを得ないものである。在營中に於て日々激甚を加へつゝある交通狀態を辨識しよく進退を標示器又は交通巡査の指圖に従はしむることは一國民公徳の進歩である、國民自ら進んで交通の危険を避くることに注意し致て交通巡査の制止を受くるまでもなきに至ることは至極獎勵すべき必要事である、今後第三師團管内の豫備後備に屬するものは克く在營中の教養を忘却することなく交通上再大阪事件の如き見悪き行爲なきに至るは吾人の信して疑はざる所である、獨り軍部と云はず總ての團

注意
本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の投稿を望む、一文四百字位にて取捨は編輯手に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

體首脳部が此第三師團首腦者の如き注意と努力とを惜まることなければ交通巡査も助かること少からざるのみでなく國民生活の誇の一となるであらう。(天満浪人)

過ぎたるは及ばず

八月九日から十二日拂曉に至る間、東京府外關東五縣下で防空演習が施行せられ、防空將軍は大體に於て成功したと聲明せられた。軍部方面から見れば成功であらうが此演習には民間では幾多の犠牲もあり、滑稽事もあり、ナンセンスもあつた、生活窮乏の今日、赤字生活を餘儀なくせられて居る時代で何の必要があつてヘルメットやユニホームが新調せられたか就中婦人の防空

服装が特製販賣せられた、吾人は轉た感慨無量を禁じ得ない、所謂御祭氣分、好奇の意思、興味の氣分が少しもなかつたであらうか無意識に交通上障礙を興へられなかつたのか、吾人が噴飯に堪へないのは某大人が燈火管制の第一夜單身見學に出掛けやうとする、其付添官が「今夜こそ此防禦チョッキ鐵兜を御着用あつて然るべし」と進言

したとか此付添官の心事を疑はざるを得ない、眞面目に斯る進言をしたであらうか演習に従事せる兵卒の苦勞を思ふとき如何に文官であつても今少し謹慎した緊張の氣分でなければならぬ、なんの必要があつて此演習に防禦チョッキや鐵兜を使用しなければならぬか、若し斯様な物の具を着用した人物があつたならサツソクに松澤病院に送り届けねばならぬ代物である。又此非常識的進言に對し大人は「否とよ我輩は唯人心を以て城とし濠として居るものだなんぞ鐵兜の類を要せんや」と答へたと傳へられておる、果して然るか茶番狂言ぢやあるまい

し之れ亦非常識な言葉である、マサカ防空演習に城や濠を持出さなくても此等は煙幕の掩ふ所となつてしまふものだ、一巡査の行動に對し名に生き名に死するてう大精神を説法するのと人心を以て城濠とすと豪語するのは好一對の過ぎたるは及ばざる實例であると思ふ讀者諸兄贊せらるゝか否や。(阿部野生)

防空演習は

忘空演習か

今回一府五縣に亘り施行せられたる防空演習は、戦時に於ける外敵を一掃し、我が國土を泰山の安きに置かしむる唯一の手段として、大なる期待と一種の興味とを以て、愛國の熱情に充ち／＼たる軍部當局者と、防護團との努力に依り、遺憾なく其の威力を發揮し、我が國防の堅固なるを實感し、我等國民の大いに其の意を強くするものである。我等は此の炎暑焼くが如き三伏の候に當り、非常なる苦熱と戦ひ無事本事

業の終了を見たる努力に對し、深甚なる敬意を表する次第である。

然し乍ら此の敬愛すべき防護團員にも極めて職務に忠實なるの結果か、甚だ其の意を得ぬ者がありしと聞く。

抑事の何たるを問はず、其の行動が大衆的なるに至つては、極めて冷靜なる態度に非れば動ともすれば其の範圍を超へ、常軌を逸する虞れがある。

今回の防空演習に際しても御多聞に洩れず、徒らに昂奮の餘り暴行したる事は甚だ遺憾の事と言はなければならぬ。

一例を挙げれば、曰く小火の警報を誤解し、大聲叱咤消燈を嚴命したる事、曰く道路に於ける喫煙を禁じ肯へざるに對し暴行を爲したる事、曰く自動車通行に對しヘッドライトを必要以上に管制したる事、而して是等に對し抗辨すれば暴力を以て迫る等々枚擧に遑が無い。斯くして遂に軍部當局者をして「管制の度が重きに過ぐるの嫌があつた」との評言を呈せしむるに至つ

た。且又傷害罪に依る訴訟沙汰迄も持上つてしまつた。斯くの如きは本事業の理解充分ならざるの證據にして團員の不注意に基因するものと云はなければならぬ。

我々は本演習を顧み將來を聯想し、大なる努力と經費とを以て再度之を行ふの時、冷靜水の如き置學なる態度を忘れ徒らに昂奮と一時的興味とに依り只空しく暴行の事態なからんよう注意し、因つて以て本事業を有意義たらしめ防空演習を忘空演習にせしめざらん事を切に要望するものである。

(i i 生)

アツパツパの辯

十八公さんあなたの筆緻には前號のすゞみ臺で全く參りましたよ、殿方は見かけによらぬものだと思ひますワ、ですがあなたも存外野暮ネ、夏の夕の涼臺にはアツパツパ着用の私共同人は登揚を斷らるゝとの事で、すネ、マサカ白袋でアツパツパを着用しておる女はありますまい。アツパツパとい

へは何んだか吹き出したくないので私もアツパツパとはいわないで簡單服と名付けておるのよ、此服装は禮服でもないし、訪問服でもないのは十八公さんも御承知でしょうに 女のたしなみを捨て申すとの掛札をつけよとは認識不足でしょう、あの服位簡便で輕快で涼しくて氣取る氣分がなくてゾロイスはあるし動作は自由だし、洗濯も簡易で着るに心配がない、何にも夕涼に氣取る要はないでしょう。元始時代の夕涼みこそ御賛成でしょう、古歌を教へて上げましょうネ、「たのしきは夕がほ棚の下涼み男はてら女二布して」何んと涼しいではありませんんかアツハツハ。〔壽枝女〕

輸腦術の發明まで

北米ウイスコンシン州ミルウォーキー市で一婦人の頭腦の右の半分を悉皆除去したが、左側に若干部分的の痲痺状態を感じた外肉體的にも精神的にも毫も異常を生ぜない、手術後一年半を経過したが其婦人は健

在して居るとの事である。外科醫術の進歩も驚くの外はない。更に外科手術が進むと輸血術で瀕死の病者が起死回生することがある、實に仕合である、斯うなると近き將來には更に進んで輸腦術が發明せらるゝでしょう、イヤ發見せられなければならぬ。其曉には極左者の腦は右を除去し、極右者の腦は左を除去されて平々凡々無害な腦漿所有者か出来るであらうから世はテロもグロも見られなくなつて安心が出来ると云ふ社會が出現するであらう。又賢者の腦の幾分は愚者の腦と取換へられて人間の賢愚は區別され難くなつてナポレオンもシーザーもクロムウェルもシェークスピアもヒットラーもトロツキもマルクスもレニンもムツソリニーも生れなくなつてしまふ。どうか一日も早く其外科手術を發明してもらいた。だが其外科手術料金の高價なる爲め富者は賢者となり貧者は愚者に終るなきや。

(ヒロシ生)